

SDGsと森林・林業・木材産業の関係性

我が国の森林の循環利用とSDGsとの関係

- 森林そのものが様々なSDGsに貢献。さらに森林資源・森林空間の利用を通じ、様々なSDGsに貢献。
- これらの利用は、林業・木材産業を通じ、森林の整備・保全に還元されるという大きな循環につながっている。



注1：アイコンの下の文言は、期待される主な効果等を記載したものであり、各ゴールの解説ではない。

注2：このほか、ゴール1は森林に依存する人々の極度の貧困の撲滅、ゴール10は森林を利用する権利の保障、ゴール16は持続可能な森林経営を実施するためのガバナンスの枠組みの促進等に関連する。ここに記載していない効果も含め、更にSDGsへの寄与が広がることが期待される。

SDGsという言葉をご存じですか。SDGsは「持続可能な開発目標」と訳され、気候変動や自然災害等の課題が世界各地で深刻になる中で、近年関心が高まっています。

実は、森林・林業・木材産業はSDGsの達成に大いに貢献しているのです。本Facebookでは、その具体的な貢献について企業等の事例を交えつつ、連載形式で紹介していきます。

我が国の国土の3分の2を占める森林は、水を育む、気候変動を緩和する、山地災害を防止するなどの多面的機能を持っており、この多面的機能の発揮が様々なSDGsに貢献しています。

さらに、森林を利用するという行為が様々なSDGsに貢献し、そこから生み出される恵みを森林の整備・保全に還元させることで持続可能な大きな循環を作り出すことが重要です。林業・木材産業事業者だけでなく、様々な方々が森林に関わっておられる事例をご紹介することで、SDGsとの関わり方に対する理解がより一層深まり、新たな取組が広がることを期待しています。